

一 般 質 問 通 告 表

平成 2 5 年第 1 回 始 良 市 議 会 定 例 会 (6 月 18 日 午 前 9 時 開 会)

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
1. 萩原 哲郎	1. 鹿児島中央駅から鹿児島空港への交通手段について	一昨年、九州新幹線が全線開通し、鹿児島市への観光客も大いに伸びて、喜ばしい限りですが、一方空港を利用される観光客も多く、鹿児島空港から鹿児島市内及び各地への、交通手段について考えると、必ずしも万全とはいえない。 現状は九州自動車道及び国道 10 号線を利用したバス利用等が主であるが、交通事故、気象による閉鎖などで度々渋滞等を引き起こしているのが実態である。 安全・正確な JR により空港と鹿児島中央駅を鉄道で結べば、観光客及び地元の人々の利便性は計り知れないと思う。 これからの鹿児島の発展のためにも、大きく貢献できる。 また、中間点としての始良市の発展・地域活性化にも大きな役割を果たすと思う。 (1)安全で正確な運行ができる JR で、中央駅と空港を結ぶ構想について、市長の考えを問う。 (2) JR 九州・鹿児島県の市長会等で協議する考えは無いか問う。	市長
	2. 市内・蓮池団地横の狩川河川について	平成 5 年のいわゆる 8・6 災害で床上浸水に見舞われた蓮池団地も、あれから 2 0 年目の節目を迎える。 間もなく始まる、梅雨時の集中豪雨により、宅地や農地の浸水被害が懸念される所である。 (1) 市内各地域の、梅雨期の河川氾	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	3. 水防・避難訓練について	濫に対する災害対策・防災点検は完了しているのか。 (2) 市内の河川敷や堤防の雑草、中洲の堆積土砂の除去は万全か。 (3) 蓮池団地の前の河川は、中洲に堆積土砂が積り、雑草が生い茂り、ガードレールも無く安全対策が確保されていないが、河川が氾濫しても大丈夫か。 (1) 8・6災害の豪雨の教訓を踏まえ、消防士・消防団員が、ビニールシートや土のう・竹・木材などを使った、堤防の崩壊を防ぐ水防工法の手順に従った訓練を行っているのか。 (2) 雨量200ミリを超える見込みでの、始良地区特に白浜地区の、周辺住民を迅速に避難、被災状況の迅速な情報伝達、避難誘導の手順に従った訓練を行っているか。 高齢者・障がい者についても示せ。	市長
	4. 始良市の競技場・公園について	(1) 始良総合運動公園は多目的に、土・日・祭日は、多くの方が利用されている。 しかし、大イベントの開催時は、帰りの際、出口が混雑し、利用者が毎回不愉快な思いをされている。 行政は大イベントの際、混雑を少しでも緩和するために、高速側のゲートを開放しているとのことであるが、以前から出口に右折車線(4～5台)を設けるように要望していたがどうなっているのか。 (2) 今年度、屋内練習場が設置され、	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		野球場の裏側が暗くなり、安全性が損なわれるおそれがあると思うが、防犯灯を設置する考えはないか。 (3) 始良総合運動公園は、小学生から大学・鹿児島 FC・ヴォルカ鹿児島など鹿児島を代表する、多くのチームがグラウンドを使用している。 野球は立派な球場があり今回、屋内練習所も建設され、満足度が高まってきて、今後、利用も増えると思う。 陸上競技場のトラックやフィールド内の施設については、十分でないと思っている。 今の芝では、子ども達が足を引っ掛け怪我をすると、県のサッカー協会の理事長さんから、要望も頂いている。 ①陸上競技場のフィールド内の芝やトラックのアンツーカーの張替えが必要と思うが考えを示せ。 ②市内には宿泊施設が少なく、始良総合運動公園内に、合宿所施設が必要と考える。 合宿所・コテージの設置計画はないか示せ。 (4) 始良市は、県の中央部に位置し、どの角度から見ても優位な場所にあるが、スポーツ関係の施設の広さが、他市町村に比べると非常に狭い。 例えば、グラウンドゴルフは高齢者にとっては、健康作り、仲間との触れ合いの場作りに、最適なスポーツであり、サッカー・ソフトボールは、ほとんどの小学校でスポーツ少年団が結成され、日々心身を鍛え、技を磨き、礼儀作法の習得に努めている。 その意味で、大イベントなど、1つ	

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	5. (仮称) 桜島 SA スマートインター チェンジ整備事業 について	の会場で開催できる広い競技場を求める声が多い。 志布志市では、春休みを利用して、9日間、全国のクラブチームが、シーズン FC (滋賀県) の指導法に賛同する大会を開き、23クラブ・630人が参加した。 宿泊費等で地元経済が潤っている。 ① 地元開催等で、地元経済が潤っているスポーツ大会が在れば示せ。 ② 行政主催で、スポーツのレベル向上・指導法を高める大会を実施する考えは無いか問う。 ③大イベントなど、1つの会場で開催できる広い競技場を求める声が多いが検討する考えはないか。 始良市として、地域経済・企業誘致・観光面にも効果のある、(仮称) 桜島 SA スマートインターチェンジ設置に向け、作業も最終段階にある。私も、平成20年3月以来、今回で6回の質問を行ってきた。 設置作業も連結許可が決定すれば、スマートインターチェンジ整備事業に着手するとの事であるが、今後の工程を分かる範囲で示せ。	市長
2. 堂森 忠夫	1. 人事管理について	(仮称) 松原小学校新築関連の部課長級と一緒に異動し、なかには1年で異動している結果となったが、今後、学校建設に向けて担当がコロコロ代わると、誠意ある業務運営が遂行できるのか危惧するが、管理業務に支障はないか。	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. (仮称) 松原小学校の体育館新築について	(1) 議会全協での学校担当課と設計事務所による説明では、体育館の主要構造部分の屋根受け梁は、鉄骨構造との説明だったが。最近、木造の集成材に変更した経緯を問う。 (2) 主要構造部が集成材に変わった場合、次の課題等について、どの様に対応するのか。 ①集成材継ぎ手の接合部分のボルト径や材質は、どの様な種類が使用されるのか。その性能や各部材等の強度について、鉄骨構造部品と同等以上の強度が証明が出来るのか。 ②集成材は初めて使用するが、鋼材同等の材料のミルシート的な木材の断面材質や、強度分析データが添付できるのか。各部材の強度試験（引張・曲げ・圧縮などの破壊試験）を実施し、そのデータを提出することが可能か。 ③変更になり耐震構造や強度的な課題は残らないか。変更になった材料の強度を、鉄骨と比較してどの様に証明するのか、文部科学省の設計基準や仕様書に対応可能か。 ④体育館は避難場所でもあり、安全な施設であることが第一条件だが、設計途中で主要構造部の材料を変更した場合、その安全設計について設計監理者の立場から、9月議会では安全を証明して頂きたいが、参考人としてその対応が可能か。	市長 教育委員長
	3. 地域再生と人材育成について	(1) 子育て基本条例に沿った未来っ子の育成の為には、教職員自らが、郷土愛の精神で地域活動に参画し持続すること等が求められないか。地	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		域文化を理解し市民と一緒に汗することにより、新たな自分を気づき仕事に感謝できる人興しが、市の繁栄と元気の出る人材育成が可能になると察する。各団体等や地域と連携した交流活動で、教職員のストレス解消とお互いの刺激で活力を育むと思うがどうか。 (2) 農林漁商工業に活路を拓く為には、今後、NPOの活動団体がお互いに活かし合う時代背景となった。更に、行政マンも地域再生の為に、自主的に地域活動や社会貢献に参加して、自分自身を磨くことが求められる時をむかえたと察するが、今後は職員の資質向上のため異業種での実践体験研修の制度を企画できないか。	
	4 市道・里道等の整備について	(1) 梅雨時期に入ると市民の足となる生活道路が、豪雨災害等で不通にならないか、心配多い時期を毎年むかえるが、この様な課題等の要望や陳情等に市民が納得のいく対応が出来ているか。 例えば、市道路線140号の中福良・小脇線沿いの底辺地帯である木田3825番地4の前面道路付近は、多少の降雨でも用水路の雨水が流れ込み通行不能状態になる。過去、行政に幾度も排水工事を求めてきたが実現しないと聞く。今後、この様な排水などの改善を進めるのか。 (2) 市道路線203号の隈原上線の道路拡幅などや、里道の農道・生活道路の拡幅整備を求めて、多くの陳情等が各地区から提出されていると察するが、市民が願う整備はいつ頃	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		になるか明確にすべきだ。また、里道等の道路整備や市道への格上げ等の条例を整えて、市民の生活に密着する道路の整備を図れないか。更に陳情等に対して市民へ文書で説明し、市民が納得出来るような運営を図れないか。	
3. 笹井 義一	1 雨水排水対策について	平成5年の8・6水害から20年が経過して、当時の実態を知らない世代が増えている。8・6水害が起きた年、鹿児島県内では大雨や台風襲来が相次ぎ、至る所で土砂災害や洪水が発生、犠牲者は121人に上っている。 早期避難の重要性、1時間100ミリの豪雨への備え、情報伝達の難しさなど防災の課題を浮き彫りにした。 姶良市においては、本年度に3億7,800万円かけて加治木地区の防災無線が設置され、市全域の情報伝達手段が整備されることは評価すべきことである。 新市においては、スマートIC設置や火葬場建設など生活の利便性向上対策には力点を置いているが、住民の安全・安心への対策が疎かであるという市民の声を耳にする。 24年第3回定例会の里山議員の質問に対して、冠水する地域の排水調査結果は、姶良地区26か所、加治木地区14か所で、推定概算事業費が200億円を超える額になるという答弁があった。200億円を40か所で割ると1か所当たり5億円が所要額である。 その内Aランク指定が14か所あり、整備計画の中で提示すると答弁している。14か所を整備する概算事業費は70億円相当と予測される。 生活の利便性向上対策と住民の安	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2 子育て基本条例の具体的な実践について	全・安心対策はバランス良く実施すべきと考える。 雨水排水対策について、市長の考えを示されたい。 近年児童の登下校の安全確保を目的に「見守隊」が県内各地域で結成され活動しており、始良市においても校区ごとに帽子の色を違えて、安全パトロールが実践されている。 私が所属する松原自治会では、平成18年度に自治会の予算で帽子と腕章を調達して活動を開始した。 発足に当たっては、高齢者は児童を見守り、児童の保護者は高齢者を見守るという方程式を予測していたが、子ども会組織の崩壊の危機を目の当たりにして、子育て世代に高齢者の見守りを求めることには無理があると認識するに至った。 そこで松原上自治会では、平成22年に「松原上ふれあいネットワーク部会」を立ち上げて、7人の民生児童委員を中心に、地域の独居高齢者、重度障がい者など弱者にやさしい地域づくりに努める活動を始めている。 25年4月24日の南日本新聞に、子どもが高齢者見守り【出水「サポート隊」来月始動】という見出しがあった。記事の内容は、市立の22小中高校でそれぞれ組織。学校ごとに活動計画を立てて活動を始めるといふ。出水市青年の家で11日、各校の校長が集まり、結成式が開かれた。西出水小の古河校長は「地域の実態に合わせ、児童のアイデアを生かした特色ある活動にしたい」と述べたと結んでいる。 始良市では、県下で初の「子育て基	教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		本条例」を制定した。子どもが知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付け、ふるさとを愛し誇りに思い、公共の精神を持ち、より良い社会づくりに貢献できる自立した人間に成長することを目的としている。 私は、出水市の取り組みは「子育て基本条例」の目的を実践しているように感じている。取り組みの方法や内容は地域によって異なるものと考えますが、出水市の実績を参考にして、26 年度以降始良市独自の取り組みの実現を望んでいる。 「子育て基本条例」を具体的な形で実践することに対する、教育長の考えをお聞かせ願いたい。	
4. 吉村 賢一	1. 港町活性化事業の網掛通り旧護岸の整備及び振興策について	昨年 12 月の総務委員会での説明では、「酔っ払いが転んで危ない、県から違法駐車相談が来ている」、この二つの理由で当時地元から要望の無かった網掛通り（網掛川左岸）も追加範囲に含め、旧護岸撤去アスファルト舗装化を構想していたが、課題を残して予算は多数決で議決された。ところが県は網掛通りについては予算補助を執行しないと聞いているがこの計画はどうなるか以下に問う。 (1)3 月議会では、「①空洞調査を含め測量・設計中なのでその結果により検討する」、また、他の議員による質問の回答として「②今後文化財保護審議会の委員を含め多くの専門家の知見や指導を受けながら、開発と保存の調整を図っていく」とあったが、いずれもどのようなになったか。 (2)5 月 14 日地元説明会において下浜自治会長が要望書を 15 日、市議会に提出	市長 教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		すると発言された。その折、他に里道と側溝の整備をお願いしたい。また、隣接護岸を壊した当時、この区間が残されたのはこれだけは残さなければならぬという話があったからと聞いている。これを大事に思う人たちの意見も十分に聞いて欲しい。とあったが、歴史財産として価値を認める市民の意見はいつ聞く予定か問う。 それと、側溝の整備についてはポンプアップを含む下水道整備の地域全体計画が必要と思うがどうか。 (3)生活者の交通安全と歴史財産と港町活性化をお互いが譲り合える形として以下の考えを提案したいがどうか。 ①網掛橋袂からいち松とらや前までコンクリート堤防沿い 180m を歩道にする。 堤防側と旧護岸の間は幅 1.5m から 2m 以上（恵比須神詞南近辺は 5m）の余地がある。この 180m 区間の堤防側を含む一切を駐車禁止にして、歩道及び祭り広場とする。歩車道分離し旧護岸には説明板・バンコを置くことはできないか。 ②駐車禁止措置等については県との協議は行ったか。 豊かな歴史文化・自然環境を守りながら高齢化社会にも対応しなければならない時代となってきた。	
	2. 龍門滝から龍門司坂・高岡公園一帯の観光開発について	(1)龍門司坂においては 7 台分の駐車場が完成し片道 500m 弱の旧道の散策が気軽にできるようになった。ところが、ここにトイレがない。新設が難しければ近くの設備を活用することで案内表示はできないか。	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
		(2)龍門滝は最近大型バスの乗り入れが多いと聞く。温泉施設の中のトイレは入浴者以外利用できない。当然滝見台へ上る途中のトイレを目指すことになる。44 段の階段を登った場所にあるトイレへの車いす乗り入れスロープは急角度な曲がりであり改善が必要である。足の不自由な人には別の道として第 3 駐車場からの道筋沿いに案内板を考えられないか。 また、高井田用水遊歩道からトイレの位置までは 13 段と更に石段を下りることになるのでスロープ取付けを考えるべきであるがどうか。 (3)高井田用水遊歩道についてはベンチを山側に置いてあるが、雑草繁茂と展望を考えると平野側に設置する方がベターと思われるので改善できないか。 (4)周遊コースとして龍門司坂を登りさえずりの森、高岡公園から隈姫神社、宇曾ノ木滝、高井田用水、龍門滝温泉へのコース整備・案内板はできないか。	
	3. 島津義弘公 400 年祭に向けて	あいらびゅー号も立ち寄り観光客も増え、2019 年で義弘公没後 400 年になる。 (1)このゆかりの地である精矛神社及び隈姫神社のトイレ・駐車場はお粗末な状態である。これを何とか改善する手立ては考えられないか。まずはトイレが必須であり無ければ観光客にとってもイメージダウンになるのではないか。 (2)鍋倉の稻荷神社のトイレも団体客が来た際は混雑する。トイレ施設の改	市長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	4. 加治木図書館の移転と郷土資料館の拡充	善はできないか。 (3) 護国神社の駐車場は加治木図書館前利用だが昔の屋形図と駐車場・トイレの案内看板は設置できないか。 郷土館については幾多の歴史資料が加治木の民家に埋もれている中で更にこれらの収納や展示に十分に対処するために以下のような提案をしたい。 (1) 図書館を棕鳩十記念館の敷地及び近辺もしくは利便のいい箇所に移す。 (2) 図書館の跡地は郷土館として使う。 (3) 学習室は残す。 (4) 図書館開館時間の検討(時間延長) 長期的にこのような検討はできないか。	教育委員長
5. 河東 律子	1. 教育問題	(1) 体罰について 教職員による体罰が問題化している。 鹿児島県では、2012 年度に起きた体罰が 82 件あったと発表されている。11 年度は 13 件、12 年度は 1 次報告 21 件を大きく上回っている。 ① 始良市での 11 年度、12 年度の体罰の実態はどのようになっているか。(小・中・高) ② 体罰とは何か。体罰をどのように認識しているか。 ③ 体罰をなくする手立てをどのように考えるか。 (2) 青少年の健全育成について 始良市は県内初の子育て基本条例を作った。 家庭、学校、地域社会、事業者及び市の役割と責任を明らかにし、自立する子どもの育成に寄与すること	教育委員長

氏 名	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手
	2. 認知症対策	を目的にしている。 ① 子育て基本条例を「実」のあるものにするために、家庭・学校等、理念を共有することが大切であると考えます。 そのための手立てをどのようにしているか。 ② がんばった児童・生徒を認めることは青少年健全育成には必要である。 スポーツ・文化等で全国大会等へ出場した児童・生徒を、市民へ公表する場を設けたらどうか。 2009 年～12 年度に国立社会保障・人口問題研究所が行った調査で、65 歳以上の高齢者のうち認知症の人が 2012 年時点で 462 万人にのぼると発表された。これは 65 歳以上の高齢者の 15%にあたるという。また予備群が 400 万人いると推測されている。 (1) 本市の介護保険の介護度ごとの認定者はいくらか。 (2) その中で認知症の方はどれ位いるか。 (3) 介護保険を利用していない認知症の方はどれ位いるか。 (4) 市としての認知症対策と課題を示せ。	市長
	3. 在宅介護支援について	在宅で介護している介護者は、さまざまなストレスを抱えている。市としての在宅介護支援の実態と課題を示せ。	市長